



## 9日目—柔和

ヤコブ 3 : 13—18 & コロサイ 3 : 12—17

### 執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。  
ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- ▶ 柔和さを学ぶためにイエスという模範を与えてくださる神を賛美しましょう。  
「苦役を課せられて、かがみ込み、彼は口を開かなかった。屠り場に引かれる小羊のように／毛を切る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった」(イザヤ 53 : 7)
- ▶ 神ご自身から学び、従うことで、平安を与えようと招いてくださる神を賛美しましょう。  
「わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる」(マタイ 11 : 29)
- ▶ わたしたちを強めてくださる柔和な神を賛美しましょう。  
「あなたは救いの盾をわたしに授け／右の御手で支えてくださる。あなたは、自ら降り／わたしを強い者としてくださる」(詩編 18 : 36 [口語訳 18 : 35])
- ▶ 謙遜さを自ら教えてくださる神を賛美しましょう。  
「へりくだる者を公義に導き、へりくだる者にその道を教えられる」(詩篇 25 : 9 [口語訳])
- ▶ 柔和な知恵を求めて神に祈りましょう。  
「上から出た知恵は、何よりもまず、純真で、更に、温和で、優しく、従順なものです。憐れみと良い実に満ちています。偏見はなく、偽善的でもありません」(ヤコブ 3 : 17)
- ▶ 神があなたに柔和になる方法を教えてくださるよう祈り求めましょう。  
「しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい」(1 テモテ 6 : 11)

「あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです」

(Iペトロ3:3-4)

- 弱り、つまずき倒れてしまった人を柔和に立ち上がらせる方法を教えてください、神に祈り求めましょう。

「兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥ったなら、“霊”に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。あなたがた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい」(ガラテヤ6:1)

- 不親切な人にも柔和でいられるよう、神に祈り求めましょう。

「あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます」(フィリピ4:5)

- あなたの人生において、柔和さをさらに学ぶ必要のある人や状況はありますか。そのために祈り、柔和さを神から教えていただけるよう、祈り求めましょう。

「主はわたしに力を帯びさせ／わたしの道を完全にし」(詩編18:33 [口語訳18:32])

- 謙遜な者としていただけるよう、神に祈り求めましょう。

「だから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます」(Iペトロ5:6)

「だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる」(マタイ23:12)

- 真のセブンスデー・アドベンチストを育成するための教育内容や教育理念が維持されるために、すべての教会員や指導者によって支えられ、ますます関心が払われるよう、祈りましょう。この祈りは、教会の人材育成や教会の将来において欠かすことのできない祈りです。

「若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう」

(箴言22:6)

- この終わりの時代に、すべての教会員が個人的な証しをし、神の偉大な真理を宣べ伝えるため、小グループ活動がますます盛んになるよう祈りましょう。

「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい」(Iペトロ3:15)

- 都市伝道のために

中央ヨーロッパ支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

ザグレブ (クロアチア共和国)、ダブリン (アイルランド)、コペンハーゲン (デンマーク)、へ

ルシンキ（フィンランド）、ブダペスト（ハンガリー）、ベルゲン（ノルウェー）、ランドスタット（オランダ）、ワルシャワ（ポーランド）、ベルグラード（セルビア共和国）、イエーテボリ（スウェーデン）

神の言葉を求めて飢え渴いている人々のために祈りましょう。

「見よ、その日が来ればと／主なる神は言われる。わたしは大地に飢えを送る。それはパンに飢えることでもなく／水に渴くことでもなく／主の言葉を聞くことのできぬ飢えと渴きだ」  
（アモス 8：11）

▶ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「主よ、わたしは貧しく身を屈めています。わたしのためにお計らいください。あなたはわたしの助け、わたしの逃げ場。わたしの神よ、速やかに来てください」  
（詩編 40：18 [口語訳 40：17]）

▶ 愛する子らに惜しむことなく良いもので満たし、祈りに応えてくださる神を賛美しましょう。

「得られないのは、あなたがたが願い求めないからで（す）」（ヤコブ 4：2）

「今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる」（ヨハネ 16：24）

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある 7 人のために、2～3 人のグループで祈りましょう。神が彼らを柔和にし、主のための証し人となることができるよう祈りましょう。彼らのためにヤコブ 1 章 19～20 節を心に留めましょう。「わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

**讃美歌** 「あなたを愛します」 （きぼうのせいさ 63 番）  
「祈りの言葉」 （希望の讃美歌 355 番）  
「聖なるものと」 （聖歌 553 番）  
「わが主のつばさのかげに」 （希望の讃美歌 312 番）

## 柔和に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は…柔和…です」(ガラテヤ 5 : 22—23)

「キリストの愛、優しさ、柔和さを表す者となりましょう。柔和さは神の目において貴い宝石のようなものです」(*My Life Today*, p.53)

「わたしたちの内にキリストがおられるなら、社会におけるように、家庭でもクリスチャンとしてふるまえるでしょう。クリスチャンは、身内にも知り合いにも優しい言葉をかけます。彼は思いやりがあり、柔和で、礼儀正しく、愛に満ち、同情心に富み、家族と共に、それ以上に地域のために自ら学び続けるでしょう。王室の一員として、継ぐべき王国を代表する者となるでしょう。彼は、自らの子どもたちもまた、神の相続人であり、天の宮廷の一員であると理解し、柔和に語り聞かせることでしょう。神の子どもたちのなかに粗野な精神は存在しません。なぜなら、『霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません』。家庭のなかで大事に育てられた精神は、教会のなかで宣べ伝えられる精神なのです」

(*Ye Shall Receive Power*, p.75)

「互いに感化を与えあうような家庭においては、自分の殻に閉じこもることなく、関わりあうことができるでしょう。わたしたちが表す表情は良くも悪くも影響を及ぼすのです。他者における言葉づかいや行動、態度や雰囲気から明確に表されるのです。……キリストの愛に満たされるとき、礼儀、親切、他人を思いやる優しさを示し、愛の行為、柔和さ、感謝や幸福感に満たされて友人と交わるようになります。これらはイエスのために生きているという証しでもあるのです。……このような者たちは次のように主を賛美できるのです。『あなたの助けはわたしを大いなる者とされました』(詩編 18 : 35 [口語訳])」(*My Life Today*, p.53)

「わたしたちは、憐れみ深く、柔和で、優しく、赦しと思いやりで満ちた者となるよう訓練する必要があります。わたしたちはすべての虚栄心、愚かな会話、くだらない冗談をやめる一方で、他人を思いやらず、冷酷で、内向的な者となるべきではありません。栄光から栄光へ、品性から品性へ、力から力へ、イエスの気高いみ姿を映しつつ変えられる限り、義の太陽であり、真の光であるイエスについて語り続けましょう。主はイエスを表すその行為を喜ばれ、天の書物に『よくやった』と書かれるのです」(*Ye Shall Receive Power*, p.75)

### 個人的な考察のための質問

1. 生活のどの分野で、あなたはもっと柔和になるべきですか。あなたはどのような人たちに、もっと柔和さを表せるでしょうか。
2. あなたが、もっと柔和になる必要のある人たちをリストにしてみましょ。彼らに主を表すことができるよう、また、神があなたに柔和さを与えてくださるようお願い求めましょ。絶えず勝利を与えてくださる主を賛美ましょ。